

※撮影時は感染症対策を万全にし、一時的にマスクを外しています。



▲地域子育て支援センターにて利用者にパープルリボンやメッセージを飾り付けてもらったツリーを、本庁ロビーに展示しました。

女性に対する暴力をなくそう パープルリボン運動を通して すべての女性を支援

多くの女性が悩み、苦しんでいるのに、相談しにくい暴力。新型コロナウイルス感染症の影響で、これまで以上に女性に対する暴力が増加・深刻化していると言われています。石岡市では、11月12日～25日の「女性に対する暴力をなくす運動」の期間に合わせて、女性に対するあらゆる暴力をなくすことを伝えるだけでなく、DV被害を受けたらどこに相談すればよいのか、相談窓口の周知も目的とし、パープルリボン運動を行いました。



▲今西先生は、(公財)日本動物愛護協会常任理事ならびに動物愛護社会化推進協会理事を務め、全国で授業を行っております。

小桜小学校で「命の授業」 動物愛護を通じて 自分を大切にする心を育てる

11月30日、小桜小の5・6年生を対象に、児童文学作家の今西乃子先生による「命の授業」が行われました。この授業は、(公財)日本動物愛護協会の協力により実施され、虐待により障害を負った子犬「未来ちゃん」が命を拾われ、成長していく物語に沿って進められました。授業の最後に伝えられた言葉は「誰かを笑顔にすることは自分を笑顔にすること」。児童たちは真剣な表情で授業を聞いていました。

みんなの力を一つに合わせて 関東大会ブロック3位の 石岡南 JVC が市長を表敬訪問

11月30日、石岡南 JVC (ジュニアバレーボールクラブ) の選手が市役所を訪れました。石岡南 JVC は、南小学校などで活動している小学生のバレーボールチームで、10月末から行われた県大会で見事に優勝を果たしました。その後、11月27・28日に開催された関東大会に出場。関東大会では、出場チームを4ブロックに分けたトーナメント戦が実施され、石岡南 JVC はブロック3位の成績を収めました。



▲選手たちは市長に結果を報告。一人ひとり大会での感想などを話してくれました。



▲ 式には更生保護関係団体や同地区保護司ら約 40 人が集まり、開所を祝いました。

地域を支える新たな拠点に 石岡地区更生保護 サポートセンター開所式

石岡地区保護司会（菊地善衛会長）が運営する「石岡地区更生保護サポートセンター」の開所式が、12月10日に八郷総合支所で行われました。センターは、更生保護の活動拠点として支所3階に設置され、既に9月から運用を開始しております。開所式では、主催者の菊地会長が、「志を同じとする諸団体との連携を強化して、犯罪や非行をした人たちの更生の手助けに努めていきたい」と決意を述べました。

ふるさとのあたたかさを伝える 飛澤龍神作「ぼたん雪・4題」 の贈呈式を実施

12月17日に八郷総合支所にて飛澤龍神作「ぼたん雪・4題」の贈呈式が行われました。この作品は、1937年から続く新興美術院が主催する「第57回新興展」に出展されたもので、令和3年11月に市に寄贈されました。飛澤氏は石岡市出身。「ぼたん雪・4題」は石岡のふるさとを象徴する風景である霞ヶ浦の湖畔が描かれています。12月20日から27日まで支所1階「郷の風」で展示され、訪れた人の心を和ませていました。



▲ 作品には自然豊かな霞ヶ浦の湖畔で生きるカモ、オオバン、シラサギ、カワセミなどが描かれています。



▲ 実は和食でも食料自給率（カロリーベース）は限定的。参加者からは、食の現状について驚きの声と多くの質問が挙がりました。

石岡市 SDGs 入門セミナー 身近な「食」をテーマに SDGs を考えてみよう

12月19日に本庁にて、茨城大学准教授の野田真里氏を講師としたSDGs入門セミナーが行われました。今回のテーマは「食」。身近な内容ということもあり、10代から70代という幅広い年代から参加者が集まりました。参加した20代の女性は「SDGs」というと環境のことばかりをイメージしていたが、『QOL（個人の生活の質）の向上』という重要な目標があることが分かり、自分の課題としてとらえやすくなった」と感想を述べました。